

セビリアのとある酒場。一人の踊り子が足慣らしをしている。興が乗って振り子が大きくなると、それまで無関心だった客の目を釘付けにし、やがて皆が踊り出す。バレエ音楽「ボレロ」はラヴェルによる作曲から90年を迎えようとしている不朽の名作です。横浜みなとみらいホールで行われた横浜音楽祭2016前夜祭は、そのセンセーショナルなリズムの中フィナーレを迎え、横浜音楽祭の開幕を大いに盛り上げました。世界で活躍する指揮者の西本智実さん。そして数々の受賞歴を持つメンバーで構成された実力派「イルミネーター」のイルミネーターオーケストラ。ゲストには、これまた世界的なトランペット奏者の日野皓正さんを迎えた超豪華なコラボレーションに、赤い靴ジュニアコーラスが横浜少年少女合唱団と共に加わったのです。日本の童謡メドレー「四季」を、感情を込めて歌い上げ、メドレーの結びは美しく編曲された「ふるさと」でした。「涙を抑えられなかった」と、あるご婦人が私に言いました。我が赤い靴ジュニアコーラスは横浜少年少女合唱団と共に舞台上に大きな花を添えたのです。世界的なマエストロにオーケストラ、四季の歌を美しい声で歌う児童合唱に私も感動しました。私たちが子供の頃歌った数々の唱歌は、脈々と今の子供たちに伝わっているという安心感もあり、感動はひとしおでした。

ゲストの日野皓正さんの突き刺さるようなトランペットの音色を久しぶりに耳にしたその帰り、館内の小さなエレベーターで一緒になりました。頬つべたを膨らませている顔しか知らない私は、穏やかな素顔に一瞬気がつきませんでした。大御所に褒める言葉も見つからず、「お疲れ様でした。」という、「またまたゴマ摺って。」と笑っていました。駐車場を帰る私に「どこへ帰るの？」と聞くので、すぐ近くだと答えると、東京の方だったら一緒に自分の車に乗って行ったらというお誘いのようでした。「気をつけてね。」と手を振って別れましたが、気さくな方でした。出演の団員たちもご両親もハイテンションを隠し切れない様子でした。私は団員たちを誇りに思っています。

さて、あかいくつスタジオでのザ・シワクチャーズのレッススが終わり、片付けている時、地階なので気が向いた時しか感知しないスマホが鳴りました。事務局に誰もいなくなる時、固定電話をつないで通話できるようにしてあるのです。ですから私の携帯電話は24時間営業でもあるのです。

「松永春さんですか。私は山本と申します。たった今の会議で、松永春さんが今年度の横浜文化賞に決まりました。」「えっ、まさか。お間違えでしょう。」実は2000年に「赤い靴記念文化事業団」が横浜文化賞奨励賞を受賞しているのです。それを申し上げたところ、「あれは事業団に差し上げたもので今回は松永春さん個人にということなのです。」それでも信じられず、「海外旅行に当たりました」という電話やメールでのいたずら、詐欺まがいの事件がよくあるということが頭をよぎったのです。もの静かな山本さんは「いいえ本当です。」「失礼ですが山本さんはどちらの方ですか？」と尋ねると「失礼しました。私は横浜市文化観光局の文化振興課長です。」というのです。「メールアドレスをお伺いし、詳しいことはメールでご連絡いたします。」と聞いて、多少は納得したのですが、賞をいただけるような事業をしているわけではなく、友人たちは「またそんなこと始めたの？」と道楽以外の何ものでもないという感覚で私を

写真 右端 氷川丸のレッスン 指導 西本智実先生
横浜少年少女合唱団と赤い靴 合同
右 開港記念会館 横浜市歌 全員合唱
下 開港記念会館 「ここは横浜」
横浜市民ミュージカル有志



見ているし、それについてのお褒めの言葉は常に「よくやるよな。」と、からかうようなものでした。私も友人たちが道楽と軽口をたたくような、自分の好きなことをして賞をいただくという考えは皆無でしたし、賞に対しても無頓着でした。今どきの言葉でいうとサブライズ、かつて習った言葉で言い表すならば、正に晴天の霹靂でした。

受賞者のプロフィールが添えられたメールを見て、よく調べたなあと思うほど詳細な自分の経歴を読んで、改めて私個人で何かを成し遂げたということはないと感じたのです。常に大勢の方を巻き込んだからこそできた事業でした。50年前に発想を得て、37年前、山下公園に建てた「赤い靴はいてた女の子」の像の直接協力者は実に42992名という大人数でした。また、今では私たちの事業団のコーラス、ミュージカル、ダンス、ワークショップには3歳から95歳の方々が参加し、楽しみながら活躍しておりますが、多分自分のことのように喜んでくれるでしょう。私は「巻き込んだ仲間が、巻き込まれてよかつたな」と思ってくれるように」ということを自分のモットーにしています。巻き込まれてくれた多くの皆さんの協力がなくて成立しえない、これらの活動が認めていただけたことは本当に良かったと、素直に思いました。授賞式は11月17日(木)だと聞いております。

音祭り前夜祭に参加させていただいた後、私共の事業団でもう27回も行っている「中区童謡の会」を拡大し、横浜音楽祭に合わせた構想を市に提案したところ、サポーター事業に認定され9月25日(日)、ヨコハマを歌おう！ 皆で歌おう！「横浜・青い目・赤い靴」を開催しました。幕末から現代までの横浜にまつわる歌を歌おうという趣旨のイベントです。私共の横浜★男声合唱団、赤い靴ジュニアコーラス赤隊、青隊、テンダーフット、さらに横浜市民ミュージカルの有志、横浜市民こどもミュージカル参加者が出演し、それぞれ横浜にまつわる歌を披露しました。短時間ということで見えませんでした。来年の中区制90周年、横浜開港記念会館100周年のポスター撮影に臨みました。赤い靴ジュニアコーラスは、恒例のインターコンチネンタルホテルでのクリスマスキャロルに向けて特訓中です。 2016.9.29 団長 松永春



今後のスケジュール

10/9(日) ハローよこはま 横浜公園・日本大通 ステージ 赤い靴ジュニアコーラス 全員 セシモノー11:00 合唱 11:45~ メインステージ 赤い靴ミュージカルキッズ 出演 キングエリア 県庁前
10/17(月)・18(火) 高木東六没後10年メモリアル 交流コンサート 長野県伊那市生涯学習センター ザ・シワクチャーズ 参加
10/23(日) 赤レンガ倉庫 東京湾大感謝祭 赤い靴ミュージカルキッズ出演 詳細後日
12/4(日) 中区合唱祭 横浜市開港記念会館 13:00~ ATF・青隊 出演 横浜★男声合唱団 出演
12/24(土)・25(日) クリスマスキャロル ヨコハマランドインターコン チネンタルホテル 赤隊出演